



2022年9月1日

三田市長 森 哲男 様

三田市民病院をまもる会

代表 [REDACTED]

三田市小野 [REDACTED]

宝塚医療生活協同組合三田支部 ([REDACTED])
[REDACTED]

「市民病院あり方特別委員会」での不誠実な説明、市民説明に関わる件に抗議するとともに基本構想(素案)の撤回を求める

さる8月18日(木)午後開催された「市民病院あり方特別委員会」(以下、特別委員会)において、「三田・北神地域の急性期医療の確保に関する基本構想について」と題する資料に基づいて説明がなされた。

私たち「三田市民病院をまもる会」をはじめ、多くの市民が傍聴する中で説明がなされ、また特別委員会委員の質疑がおこなわれた。

整備場所については、資料にもあるように「三田市民病院と済生会兵庫県病院の間地点(神戸市域)付近で幹線道路沿い」と説明された。

現状の説明が求められる特別委員会で、このように整備場所は未定であるかのような説明がなされたが、実際にはすでに8月3日の時点で神戸市北区の長尾町自治会に、総合政策部未来戦略室参事(地域医療推進担当)の喜多氏を含めて三田市職員が参加した説明会がなされており、そこでは、「この場所で建てます」と説明されている。

であるならば、特別委員会において、当然にこうした報告があつてしかるべきではなかったのか。このことは、「虚偽説明」に類するものと言わざるを得ない。全く不誠実な説明であった。多くの市民が傍聴する特別委員会への説明は、市民への説明にもあたり、市議会と市民への冒瀆に当たる。

さらに、「今後の住民説明会の予定」として、長尾町では8~9月、三田市では「意見交換会」を10月としている。設置主体であるはずの三田市民への説明を後回しに当該地域への説明をすることはおかしいのではないか。

以上のことから、「市民病院あり方特別委員会」での虚偽説明に類する不誠実な説明や三田市民への説明を後回しにするような市当局のあり方に抗議するとともに、不正確な情報(実際には、すでに整備場所を決定している)を載せた「三田・北神地域の急性期医療の確保に関する基本構想」(素案)の撤回をもとめる。